

2014

## Introduction of CIA



**TOEIC/IELTS 点数推移データ & 体験談**



# TOEICコース受講生の点数推移

Cebu International  
Academy Campus

## [4週間登録の学生]

Student Initial	Weeks	1/9	1/16	1/23	1/30	4週間のスコアアップ
M.T.	4	650	595	665	755	105UP
H.M.	4		400	540	555	155UP
Student Initial	Weeks	2/6	2/10	2/20	2/27	
K.H.	4	530	550	640		110UP
Y.S.	4		580	675	810	230UP
T.S.	4		685	710	780	95UP
Student Initial	Weeks	3/6	3/13	3/20	3/27	
R.I.	4	470	610	585	655	185UP
M.T.	4	480	650	595		115UP

## [8週登録の学生]

Student Initial	Weeks	1/9	1/16	1/23	1/30	2/6	2/10	2/20	2/27	8週間のスコアアップ
M.K.	8		625	725		745		735		120UP
T.S.	8	395		425	470	485		450	570	175UP

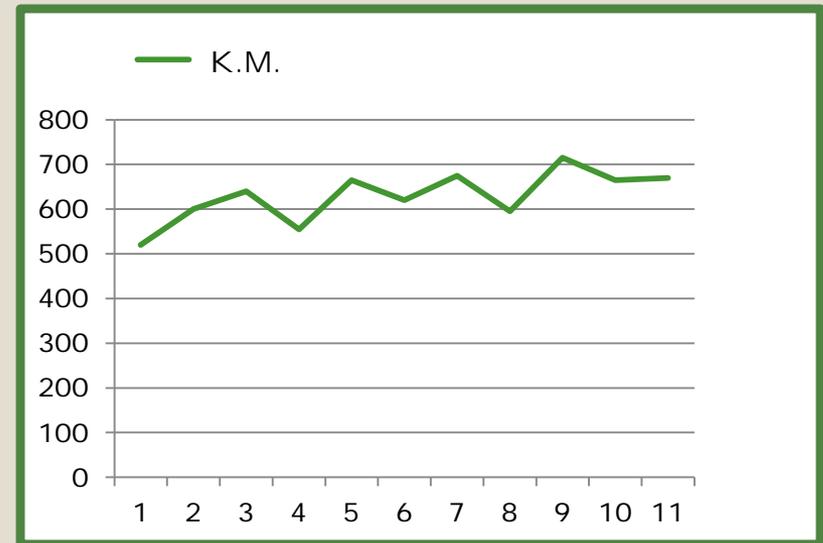
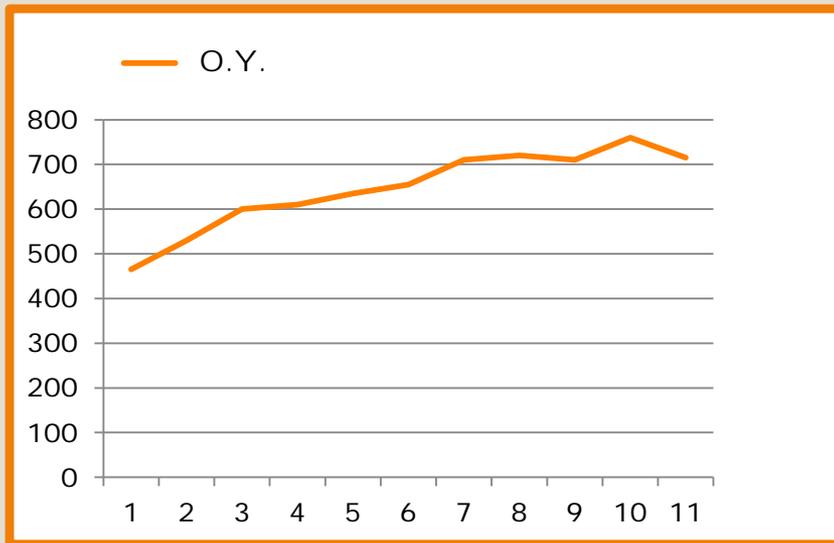
※1.この資料は2014年度のものです。

2.このテストは、毎週CIAで実行されているTOEICのシュミレーションテストです。公式のTOEICテストとは異なります。

3.資料にある学生は全て日本人です。

## [保証コース12週登録の学生]

Student Initial	1/9	1/16	1/23	1/30	2/6	2/10	2/20	2/27	3/6	3/13	3/20	3/27	12週間のスコアアップ
O.Y.		465	530	600	610	635	655	710	720	710	760	715	250UP
K.M.		520	600	640	555	665	620	675	595	715	665	670	195UP



※1.この資料は2014年度のものです。

2.このテストは、毎週CIAで実行されているTOEICのシュミレーションテストです。公式のTOEICテストとは異なります。

3.資料にある学生は全て日本人です。



# IELTS保証コース受講生の点数推移

Cebu International  
Academy Campus

## [4週間登録の学生]

Student Initial	1/17	1/24	1/31	2/7
P.M.	4	4	4	<u>5</u>
L.M	4	4	4	<u>4</u>
K.I.	5	6	5	<u>6</u>
C.H.	4.5	5	5.5	<u>5.5</u>
S.A	5.5	5	<u>6.5</u>	6
J.J.	5.5	5	5	<u>6</u>
P.S.	4.5	4.5	4.5	<u>5</u>
Student Initial	2/14	2/21	2/28	3/7
Y.T.	5	5	5	<u>5.5</u>
Student Initial	3/14	3/21	3/28	4/4
N.A	4.5	5	5	<u>5</u>
Student Initial	4/11	4/18	4/25	5/2
K.R.	5.5	6	6	<u>6</u>
K.E.	4.5	4	5	<u>5</u>
Y.K.	4.5	5	5	<u>5</u>
U.K.	4.5	4	4.5	<u>5</u>
K.W.	4.5	5	<u>5</u>	
M.S.	4	5	<u>5</u>	4.5
K.T.	4	5	5.5	<u>6</u>
Y.M.	4	4	4	<u>4.5</u>

- ※1.この資料は2014年度のものです。
- 2.このテストは、毎週CIAで実行されているIELTSのシュミレーションテストです。公式のIELTSテストとは異なります。
- 3.資料にある学生は日本人、韓国人、台湾人です。



## IELTS保証コース受講生の点数推移

Cebu International  
Academy Campus

### [8週登録の学生]

Student Initial	2/14	2/21	2/28	3/7	3/14	3/21	3/28	4/4
J.H.	6	6	6	6	6	6	6	<u>6</u>
K.T	5	5	6	6		5.5	<u>6</u>	
C.T.	4		5.5	<u>6</u>	5.5	5	5	
P.L.	4	5	4.5	5	5	4	<u>5</u>	

※1.この資料は2014年度のものです。

2.このテストは、毎週CIAで実行されているIELTSのシュミレーションテストです。公式のIELTSテストとは異なります。

3.資料にある学生は日本人、韓国人、台湾人です。



2014年	6/27	7/4	7/11	7/18	8/1	8/8	8/15	8/20	8/28	9/5	9/12	Public Test(9/13)
TOEICプレテスト結果	685	845	785	905	745	745	790	890	910	765	860	845

私はCIAにESL 3か月、TOEIC 3か月の計6か月間ここに滞在しました。一言で言うと本当に来てよかったです。私は現在大学4年。専攻が英文学であるにも関わらず英語に自信が持てず、就職してからは集中して勉強は出来ないなと感じていました。そこで思い切って半年間休学をし、CIAに来ることを決意しました。フィリピンを選んだ決め手は2つ。コストの点、そしてマンツーマンの授業が毎日受けられるという点からです。私は典型的な日本人（とてもシャイ）なので大勢の人の前で英語を話すことに抵抗がありました。来る前のレベルは簡単な日常会話ができる程度、TOEICは600点台でした。目標はTOEIC850点を取ることと決めてきました。折角の長期滞在なので、私がCIA、そしてフィリピンについて感じたこと、良い点、悪い点を含め書いていきます。

## ・授業

### 1、ESLコース

毎日先生と話すことで自然と口から英語が出てくるようになりました。日が経つにつれ成長を実感することが嬉しかったです。先生は気さくで優しく、授業後や廊下での雑談はよくしていました。また英語の詩が好きなので、授業に持っていき「ここはこうじゃないか、こんな考え方もあるんじゃない」と一緒に議論したことが印象深く残っています。

### 2、TOEICコース

TOEICでは多くの解き方、戦略を学びました。的確にアドバイスをしてくれるので自分の弱点も見え、勉強のモチベーションが上がりました。毎週本番と同じようにテストを受けられるので、点数の伸びが数字で確認でき、それもやる気につながりました。6か月目には目標を上回って900点を超えることができ「来てよかった!」と感じています。先生は個性的でとても面白いですので、楽しく授業を受けられます。

## ・食事

CIAの食事は正直にいうと飽きます。味はそれほど悪くはないですが、週に何度もまたこれかという食事に出会います。その点は改善されることを願って書いておきます。メニューは韓国食が中心ですが、日本人や台湾人のことも考慮されており辛いものは1部だけです。生活に慣れるにつれ外食が増えました。ふりかけや海苔など、ご飯に合うものを持ってくれば良いと思います。

## ・寮（ドミトリー）

来る前は1人部屋にする予定だったのですが、予約段階で空き部屋がなく3人部屋を選びました。これが大正解。台湾人、韓国人のルームメイトとくだらない話から真面目な話し、恋愛など、いつも英語を使わなければならない環境はアウトプットの場として役立ちました。ドミトリースタッフは何かあればすぐに対応してくれるので、とても助かりました。Wifiは日本ほど繋がるわけではありませんが、フィリピンなので繋がるだけいいのかなと今では思っています。

## ・海

本当に綺麗です。透き通った海でのシュノーケリングは最高でした。自然のニモ、ジンベイザメ、海がめ、イルカetc..を見ることが出来ました。日本では出来ない体験だと思います。また数年後旅行するのもいいなと思っています。

## ・アクティビティー

スピーチコンテストではギター演奏とダンス、司会もやりました。どれもこれも緊張しすぎてあまり覚えていません。とにかく楽しかったことは覚えています。ボランティアでは現地のフィリピンの現状を知ることができました。自分の出来ることをこれからも続けていきたいと思っています。

## ・勉強

授業の復習は必須です。宿題も勿論出ます。それ以外の勉強に関しては受験生の時と同じくらいしたような気がします。半年もいると時間は沢山あったため、単語帳は3冊完璧に、参考書は10冊以上やりました。初めの2か月は毎日ひたすら単語だけを暗記し続けました。復習は何度もやり、1度解いた問題も間違えたところをもう1度やることで身につけていったなと感じています。覚えたことは会話の中に組み込んで、使える英語にしていきました。周りもやる気のある方や流暢に話せる方が多いので、負けんぞという気持ちで臨めます。

## ・6か月を終えて

英語は自信が付き、話すことに全く抵抗がなくなったのは自分の中で大きなものとなっています。友達も沢山作れ、楽しい留学生活でした。フィリピンはとってもいいところ、一度はおいで。そうだ、フィリピンへ行こう。ありがとうございました。



## O.Y.さん(30代男性)の体験談

Cebu International  
Academy Campus

### CIAに3か月滞在した体験談

私はフィリピンに留学する前に台湾に5年間住み、その間にMBAを取得したので、中国語は話せるようになりました。しかし、私は英語に対して苦手意識があり、日本で就職活動をする前にフィリピンに留学し、TOEICの点数を460点から750点以上にして英語の基礎を固めたいと思ったことがフィリピンに短期間の英語留学を決めた理由です。

フィリピンに留学する前にフィリピンに対して抱いていた私のイメージはあまり良いものではありませんでした。しかし、フィリピンに滞在した3か月後にはこのイメージが180度変わることになり、楽しく充実したフィリピンの留学生活を送ることができました。

留学先の学校選定で基準にしたのは、全部で3つあります。1つはフィリピンの治安は悪いと思っていたので、留学先はフィリピンの中でも比較的治安が良いと言われているセブ島に位置する学校に決めました。二つめはTOEICの短期間コースがある学校。三つめはニュージーランドやオーストラリアでは味わえないマンツーマンの授業に重点をおいた学校。この三つの点から私はセブシティに位置するCIA『Cebu International Academy』と言う学校にお世話になることに決めました。

フィリピンの治安以外に英語に対して苦手意識を持っていた私が英語だけの授業に最初からついてきけるかという不安を抱いていましたが、その不安もTOEICコースの先生方に会うことですぐなくなりました。まず最初に授業で驚いたことはTOEICコースの先生方が個性豊かでみなさん本当に親身になって授業を教えてくれて、またみなさん優秀だったことです。そのような先生方が親身になってくれたおかげで3か月の間に目標であったTOEIC 750点以上のスコアも達成することができました。

また、フィリピンに留学する前はフィリピンの方々に英語の訛りがあり、学んだ英語にも訛りができるのではないかと先入観を抱いていましたが、フィリピンの公用語の一つに英語が選定されていることもあり、TOEICコースの先生方はみなさんほとんど訛りはなく、英語を話すのに慣れなくてはならない英語学習の初級者や中級者にとって、訛りはまったく気になりませんでした。

私は31歳に中国語を学び始め、5年間台湾に滞在し、36歳になって私は英語を学び始めました。私の経験ですが、年を取ってからも語学の習得は可能で、義務教育で習っていた英語の習得は多言語の習得よりもなおスムーズに習得できると思います。フィリピンに留学することは、ワーキングホリデーに行く方や欧米の大学に行く前の方、英語に苦手意識を持っている方が短期間に英語の基礎を固めるのにとってつけの場所だと思います。百聞は一見に如かずとよく言いますが、出国前は不安を抱いていた私もフィリピンに留学して大変満足しています。大半のフィリピン人は信心深く、心も優しく、思いやりのある方々です。治安の面でも気を付けていればスリ等の犯罪に巻き込まれることもほとんどありません。英語に興味がある方はぜひセブに留学することをお勧めします。



## C.A.さん（20代女性）12weeks Intensive ESL

Cebu International  
Academy Campus

私が留学先を選んでいたら、実はフィリピンで英語留学が可能であることを知りませんでした。当初はハワイへの留学を考えていたのですが、フィリピン留学に関して情報収集をしているうちに後者の方がイニシャルコスト・ランニングコスト的に理想でした。セブにはたくさんのESLが存在しますが、私は中でも昔から根強い人気のあるCIAを選びました。1日5コマのマンツーマンレッスンを含む授業料や寮費、洗濯、3食の食事、掃除がすべて含まれています。洗濯や食事の用意、清掃など日常生活に関わることはすべてフレンドリーなスタッフが行ってくれるので、どっぷりと勉強に集中することができました。セブを選んだこと、CIAを選んだことは1mmの後悔もなく、大満足しています。

フィリピンはまだまだ発展途上国で治安の面など心配な点もあります。サービス面や衛生面など日本と大きく違い、初めは戸惑いましたがだんだん慣れてきます。CIAの施設もとても綺麗で、毎日の生活に支障はありませんでした。ただ東南アジアと言えど、学校の教室やレストランなどの建物内はエアコンが非常に強いので、パーカーなど羽織るものを用意することをオススメします。物価も低いので、私の場合は日常コストもさほどかかりませんでした。というのも、平日は飲みに出かけずに勉強、週末も旅行などにも行かず勉強していたこともお金がかからなかった理由の1つです。とにかく英語の習得が最大のプライオリティであった私は、狂ったように勉強をしました。私と同じ時期にCIAに留学していた人たち(韓国人/台湾人/日本人)のレベルが高く、みんなとにかく勉強熱心だったことも、私のモチベーションを保つことができた大きな要因でした。ありがたかったです。

セブの国語はビサヤ語ですが、英語を公用語としています。驚いたのが、世界の有名な企業のコールセンターなどがフィリピンに多いこと。どこへ行っても基本的に英語で通じます。但しクリアな英語を話すといっても100%ネイティブではありません。人によっては訛りもあります。ですが、これは決してマイナスではないと私は考えます。訛った英語を話すのは私たち日本人も同じで、一緒に学ぶ韓国人・台湾人も訛っています。これから英語を学ぶ人たちにとってはそれくらいの方がハードルが低く、英語学習のモチベーションを保てるような気がします。とにかく「話そう」という意識を高め、積極的に英語をアウトプットしていくことが何よりも大切です。私の場合、文法や語彙、慣用句を覚え、実践でどんどん使うことを自分のルールにしていました。また会話の中で言えなかった表現、新しく知った語彙などはその日のうちに頭にインプットしました。逆に発音に関してはさほど重点を置いていなかったのも、WEB動画サービスやPodcastなどで補いました。Wi-Fiは非常に弱いと聞いていたので、日本出国前に予めPCやスマートフォンで準備しました。いかに耳を鍛え、いかに会話が続くようになるか。それを実現できたのがCIAでの留學生活でした。まだまだ完璧ではありませんが、留学する前より格段に伸びたことは実感しています。

[次へ続く]

欧米諸国に留学する場合は、ネイティブ英語をシャワーのように浴びるでしょう。ですがこちらが話せないことに露骨に嫌な顔をされ、勉強のモチベーションが保てず、挫折してしまうケースもあるのは事実です。リスニングはできてもスピーキングが苦手な人が多いといわれる日本人。それは「間違っていたら恥ずかしい」という気持ちから来るものがほとんどだと言われています。「日本人の前で英語を話すことに抵抗がなくなる」という点でも効果的なので、日本人がある程度いるCIAはちょうど良いのではないかと思います。

私自身、CIAでの留学期間は12週間でした。延長してもう少し続けたかったのが本音です。2ヶ月目くらいから耳が慣れてきて、3ヶ月目には話すことにも抵抗がなくなってきました。フィリピンでの生活に馴染めず帰国された方もいました。期間で悩んでいらっしゃる方はまず現地でやってみてから延長することも可能です。私がいた時期は韓国人も含めてCIAで延長している学生さんが多かったです。



私にとってCIA含めセブでの生活は「英語を鍛える」ものでした。フィリピンの人たちは親日家も多く、話が好きな人が多いので、こちらの発音がまだまだであっても、文法が完璧でなくても、ちゃんと向き合ってくれます。CIAの講師陣は非常に綺麗な英語を話していたことがとても印象的でした。それと同時にセブ市内の他のESLへ通う友人の話と比べてみると、CIAの講師はとてもユニークで明るく熱心な人が多いと感じました。そんな彼ら/彼女たちの姿勢は「間違っても伝えたい」「もっともっと英語を勉強して自分の気持ちを伝えたい」「もっと話せるようになりたい」と私の向上心に繋がりました。これ以上の原動力はありません。CIAで出会った講師たちには感謝切れません。「実践的な英語のトレーニング」として最高の毎日でした。

また海外で異文化を知ることよい経験にはなりますが、今回私は海外から見た日本を知ることができたこと、日本人の気質や文化、言葉など日本の良さに再度気付けたことも良かったと感じています。とにかくCIAで出会うことができたたくさんの人たちに感謝しています。これまで別々の道を歩いてきた人が、CIAを選び、CIAで出会い、またそれぞれの夢に旅立っていく。表現するなら「X」の中心部分がまさにCIAでの留学生活です。CIAで学んだ英語、セブで得た友人は、生涯の私の財産です。

CIAにてTOEIC点数保証プログラム(12週)を申込み英語の勉強をしてきました。残り1ヶ月位のときにセブで地震があり、家族より心配され帰国したので、結果的には2ヶ月強のCIAでの生活だったのですが、今後、留学を検討される方のお役に立てればと思い、留学の体験談をご紹介します。

何故、フィリピンでの留学を選んだかという、他国と比べ、英語を勉強するのに費用が安いこと、マンツーマン授業が多く、費用に対する効果も期待が持てたことが主な要因でした。治安の悪さを懸念して、両親から反対はされましたが、ネット等で調べて自分自身では安全に過ごせると感じる事が出来たので行くことを決めました。

留学を終えて、CIAを選んで本当に良かったと感じたのでCIAの良さをお伝えしたいと思います。

私の感じたCIAの良さは以下の4つです。

- 1.先生が抜群に良いこと
- 2.勉強に集中する環境が作り易いこと
- 3.ショッピングモールが近いこと
- 4.信頼のおける日本人スタッフが居てくれること

私個人の意見ではありますが、TOEICで900点以上をとる為にはそれなりにTOEICの対策をしないと取りにくいと思っています。セブには日本人が留学する為の学校は数多くありますが、TOEIC用の学習方法を先生たちが統一して学んでいる学校は少ないと思います。しかしCIAはESL,TOEIC,IELTS等各コース毎に先生の所属が別れており、それぞれのコースに適した授業を生徒が受けられるように、先生同士で勉強会や情報交換等しているとのことで、TOEICに関してはTOEICにあったコツをかなり細かい所まで教えてもらうことが出来ました。また、先生同士の団結力も強く、同じことを別々の先生から教わる事の無いように先生同士で調整をしてくれた為、生徒の私は勉強だけに集中することが出来ました。結果的にわずか2ヶ月程で825点から帰国後に受けたTOEICで905点を取ることが出来たのでTOEICコースの先生の質、授業内容に関してはかなり満足をしています。(他のコースに関しては全く受けていないので分かりませんが。)

また、CIAは平日も授業後の外出が可能なため、日用品等必要に感じたときに買いにいける状況にも満足することが出来ました。こちらの学校へくる前に平日外出禁止の学校へ行っていたのですが、日用品の消費レベル等に気を使わなければならなかった為、平日に外出出来ることはとても重要なことであると感じました。

そして、学校から徒歩5分位の所にJモールというショッピングモールがあったこともとても便利に感じました。必要なときに、必要なものだけ買いにいけるのが当たり前日本ではあまり重用視していなかった点ですが、実際にフィリピンで過ごしてからは、徒歩圏内に何でも揃うショッピングモールがあることはかなりのストレス削減につながったと思います。

最後になりましたが、地震があった際、私は家族に心配されて地震の翌日に帰国することになったのですが、その際迅速に動いて下さったCIAの日本人スタッフの皆様にも大変感謝をしております。恐らく地震等は日本程頻繁に起こることは無いとは思いますが、そういった緊急事態が起こったとしても、信頼の置ける日本人スタッフが居てくれたのは大変助かりました。

以上の4点が私がCIAをお勧めする主な理由です。TOEICの点数を上げにいなら是非、CIAをおすすめしたいと思います。





## Drive your dream with CIA

皆様方のフィリピン英語留学を成功へとお導きいたします。  
最高の留学パートナーCIAをどうぞよろしくお願いいたします。

CIA スタッフ一同